

平成28年度輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成28年 9月21日

農林水産省

食料産業局長 殿

全国農業協同組合連合会

営農販売企画部

輸出推進課

平成28年度における輸出に取り組む事業者向け対策事業の海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : 台湾

実施期間 : 平成28年 12月24日～ 12月30日

(フェアに係る出張 : 平成28年 12月26日～ 12月28日)



「台湾全農青果物フェア」

1. 『台湾全農青果物フェア』について

(1) 期間 : 平成28年12月24日(土)～12月30日(金)

(2) 場所 : そごう(忠孝館)
 シティスーパー(復興店)
 シティスーパー(天母店)
 三越(A11店)

(4) 内容 : 昨年度台湾輸入時に農薬の基準でみかん1コンテナが不合格となって一旦輸出を断念したが、取引継続性の観点から今年度国内出荷時の検査を厳しくして100ケースのみの輸出とし、コンテナ空スペースを利用して複数品目の青果物の混載輸送となった。結果的に全品目無事輸入でき、予定とおりの販促フェアの実施ができ、台湾旧正月前のよい時期に、大消費地の台北市内高級スーパー4店舗において日本産農産物の宣伝を行った。

この時期、台湾新政権発足して間もなく、政党と野党の攻防が激しく政治関係の話題がメディアを賑わせている。

その中、日本産農産物の全面解禁話題も取り上げられたことで消費者の心配を引き起こさせ、日本産農産物の評判に影響が出た。特にりんごの在庫は多い。

厳しい販売環境の中こそ、地道な商品宣伝が重要であり、有意義な販促活動であった。

(出荷リストは別紙のとおり)

出荷日程:

- 12月15日 福岡市乙仲倉庫にて植物検疫を受ける。
- 12月16日 博多港にて通関手続き
- 12月17日 博多港出港
- 12月20日 台湾基隆港到着、植物検疫、通関
- 12月21日 輸入会社倉庫到着
- 12月22日 販売各店舗へ商品配達

出荷明細

番号	商品名	産地	ケース 重量kg	数量
1	みかん(2S)	愛知県	10	100
2	さつまいも	宮崎県	5	100
3	さつまいも	熊本県	5	95
4	日田梨(5個入り)	大分県	5	563
5	日田梨(7個入り一般箱)	大分県	5	170
6	日田梨(7個入りギフト箱)	大分県	5	140
7	みかん(M)	福岡県	10	60
8	みかん(S)	福岡県	10	51
9	みかん(M)	三重県	10	23
10	大根(L)	宮崎県	10	10
11	人参(M)	長崎県	10	10
12	ながいも(B2L)	青森県	10	40
13	ながいも(BL)	青森県	10	56
14	ながいも(BM)	青森県	10	26
15	ながいも(A3L)	北海道	10	45
16	ながいも(A2L)	北海道	10	101
17	ながいも(B2L)	北海道	10	127
18	ながいも(AM)	北海道	10	147
19	ながいも(BL)	北海道	10	110

3. 台北市全農青果物フェア

(1)フェア対応:平成28年12月28日(火)

(2)場所 :前掲

(3)出席者 :商田実業 陳 担当
あいち経済連 鈴木課長、久野課長
JA全農 営農販売企画部 輸出推進課 遠藤

(4)内容 : 今回の全農フェアはあいち県産みかんと日田梨を重点的に試食による販促を行った。年末のため、買い物客でにぎわっていた。よい宣伝となった。また、昨年、農薬で一部輸入できなかったあいち県産のみかんを継続販売でき、市場中で知名度の維持効果もあった。
あいち経済連の担当課長も同行し、輸入会社の責任者に台湾側の農薬基準についての最新情報を伝え、今後の販売拡大への協力を求めた。

(5)輸入会社との打ち合わせ:

場所 :商田実業会議室
出席者 : (輸入会社)商田実業 林会長、林社長、陳担当
(輸出会社)九州農産物通商 中土課長、張担当
(産地代表)あいち経済連 鈴木課長、久野課長
(フェア実施者)JA全農 営農販売企画部 輸出推進課 遠藤

内容 :
○着荷状況確認したところ、概ね良好という回答であった。
○青果物のCAコンテナによる輸送テスト結果はよかったため、来年早々品目を変えて2回目のテストを実施する予定。
○全農テスト販売コーナーを利用して丹波黒豆の加工品をテスト販売する。出荷元の全農食品よりサンプル手配の上、CITYSUPERの担当と詳細打ち合わせする。
○全農出張者持参したカット野菜サンプル(皮なしのさといも・ごぼう)を提示し意見を聞いたところ、ごぼうは台湾で需要がないが、さといもが皮ごとの商品であれば可能性がある。また、かぼちゃの場合、皮つきなら可能性がある。
○来年台湾の労働法改定に伴い、フェア販促マネキン代が上昇するので、あらかじめ了承してほしいと商田社より説明があった。

(CITYSUPER 天母店)



日青協提供の販促資材と全農の販促資材で売り場作り。



現地プロモーターによる丁寧な説明と試食勧め。



全農出張者による販促。



あいち経済連担当による販売調査。



あいちのみかんは5個パックで
571円で販売。



さつまいもは3本パックは約
677円で販売。



日田梨は5個入れの化粧
箱は約2,992円で販売。

(三越A11店)



日青協ミニノボリ、全農と産地の販促資材で売り場づくり。



現地プロモーターおよび全農職員は試食販売実施。

SOGO(忠孝館)



台北中心地に位置するため、販売促進には最適な場所とされている。



にぎわう中、現地プロモーターによる試食販売。

(CITYSUPER復興店)



店舗入り口と冷蔵棚2か所に全農フェア売り場を設置。



現地プロモーターによる試食販売。



フェア総括と今後の販売について輸入会社事務所での打ち合わせ。

4. 所感

台湾のきびしい農薬規制で一旦輸出をあきらめたみかん産地は再トライを試み、成功したおかげで産地ブランドづくりに役に立ったと考える。

5. 今後の予定

新年度の販促フェア予算を申請したうえ、台湾輸入会社と実施時期・品目・輸送方法等を協議する。

以上